



長 年にわたり見守り活動等を実施 更生保護活動に尽力した村内の3人が受彰

11月28日、「法務大臣表彰」を受彰した東海保護司の会の原淑行さん(村松)、「茨城県知事感謝状」を受けた同会の黒羽根史朗さん(村松)、「法務大臣感謝状」を受

【写真】(左から)黒羽根さん、原さん、山田村長



けた東海村更生保護女性会の中野トキさん(村松)が、村長へ報告に訪れました。3人は、更生保護活動において長年にわたる社会貢献や顕著な功績が評価され、今回の受彰に至りました。山田村長は受彰者の皆さんへ「長年にわたり、明るい地域社会づくりのために尽力していただき大変感謝しています」と述べました。



戦 没者遺族の福祉の増進等に尽力 佐藤さんが「茨城県功績者表彰」を受彰

11月28日、茨城県から「茨城県功績者表彰」を受彰した茨城県遺族連合会の佐藤弘子さん(村松)が、村長へ報告に訪れました。佐藤さんは、県女性部副部長として多年にわたり、戦没者遺族の福祉増進に尽力するとともに、会の役員として組織の充実発展と育成指導に貢献したことが評価され、今回の受彰に至りました。受彰を受け佐藤さんは、「今後も語り部として、戦争の体験などを伝えていきたいです」と話しました。



村 松地区の良さを再発見するために NPO法人「真砂山FUNクラブ」が地域交流会を開催



11月6日、阿漕ヶ浦の湖畔で、NPO法人「真砂山FUNクラブ」(井坂文明理事長)主催の「地域交流会」が開かれ、関係者約40人が参加しました。真砂山FUNクラブは、地域住民などで構成され、J-PARCなどの最先端研究施設と、大神宮・村松山虚空蔵堂などの歴史遺産、阿漕ヶ浦や細浦などのゆかしい自然が響き合う「村松地域」の活性化に取り組んでいます。この日開催した地域交流会は、地区の中心地である阿漕ヶ浦の自然環境等の素晴らしさを再確認するために実施。カヌー体験や紙芝居、フラダンスなどを楽しんだ参加者は、4班に分かれてのワークショップの中で、村松地区の未来についてさまざまな意見を出し合っていました。